

令和 2 年 度

石狩市教育委員会会議（10 月定例会）議案

石 狩 市 教 育 委 員 会

日 程

日 時 令和2年10月27日(火) 午後1時30分

場 所 市役所本庁舎 市議会第2委員会室

日程第1 署名委員の指名

日程第2 議案第1号 教育委員会の点検・評価報告書(令和元年度実施分)について

日程第3 教育長報告

日程第4 報告事項

① 令和2年度(第9回)図書館を使った調べる学習コンクール「石狩市コンクール」の審査結果について

② GIGAスクール構想に対する取組状況について

日程第5 その他

日程第6 次回定例会の開催について

令和2年11月 日() 時 分開催

議案第 1 号

教育委員会の点検・評価報告書（令和元年度実施分）について

令和 2 年 10 月 27 日提出

教育長 佐々木 隆哉

このことについて、別添のとおり決定したいので、石狩市教育委員会事務委任規則（平成 3 年教育委員会規則第 13 号）第 1 条第 16 号の規定に基づき議決を求める。

教育長報告
(教育委員会事務局の主な動き)

令和2年10月27日
教育委員会会議提出

10月6日	火	「石狩市教育委員会外部評価委員会」	401・402会議室
9日	金	「厚真けん玉クラブ斉藤代表(あい風寺子屋教室講師)と懇談」	教育長室
12日	月	「石狩市議会決算特別委員会」	議会本会議場
14日	水	「教育委員会事務局管理職会議(10月)」	庁議室
16日	金	「石狩管内教育長会」	北広島市役所
19日	月	「定例校長会議(10月)」	厚田学園
20日	火	「まちフェスいしかり実行委マスクプロジェクトから小学生用マスク 3,000枚受贈」	庁議室
		「松尾委員辞令交付」	市長応接室
		「教育委員10月勉強会」	議会第二委員会室
23日	金	「NEW EDUCATION EXPO オンラインセミナー(24日も)」	教育長室
25日	日	「石狩市郷土研究会創立60周年記念講演会」	花川北コミセン
		「石狩市民図書館開館20周年公開座談会-図書館の成人式」	りんくる
27日	火	「教育委員会会議10月定例会」	議会第二委員会室

決算特別委員会質疑(R02年9月)

質問者@党派 ■質問事項	質問の趣旨	答弁要旨
金谷聡@改革市民会議 ■英語指導助手(ALT)について	①英語指導助手(ALT)を採用する際、どのように指導能力の確認をしているのか。 ②コロナ禍によって新規ALTの配置が遅れているが、その対応策は？	①外国青年招致事業(JETプログラム)を通じ、外務省が実施する書類選考と面接選考で合格した者が招致され、来日前・後の事前研修やオリエンテーションを受け、各自治体に派遣され任用される。 ②入国制限により、当初予定していた9月の新規ALT2名の招致が延期となっている。対応策として、石狩国際交流協会からの紹介、協力を受け、留学生及び英語通訳案内士に、3小学校と5中学校において、英語の授業サポートを実施中。
松本喜久枝@日本共産党 ■英語教育について	①本市における英語教育の状況について	現行の学習指導要領に基づき、小学校5・6年生における外国語科、3・4年生における外国語活動において、ALT(英語指導助手)を含む他者とのかわりの中で、外国語や文化、コミュニケーションの素地や基礎となる資質・能力をはぐくむことを目標に実施。
天野真樹@改革市民会議 ■奨励プログラム推進事業について	①総合的な学習の時間の探究的な活動に課題があると指摘されているが新学習指導要領ではどのように変わったのか。 ②総合的な学習の時間の具体的な活動例	①課題とされた探究的な活動のサイクルについては、前学習指導要領と新学習指導要領の変更は無い。「活動あって学びなし」ではなく、これまでと同様に探究的な活動のサイクルに従って協働的な活動を進め、学びを深めていくことには何ら変わりはない。 ②17のSDGs(持続可能な開発目標)に関わる身近な課題について取り組んでいる学校がある。
金谷聡@改革市民会議 ■不登校児童生徒について	①支援した不登校児童生徒は何人か、また、不登校が解消された事例はあるか？ ②今後、不登校児童生徒数を減らしていく取組は？	①支援児童生徒数、解消数(道報告値) ②不登校児童生徒への支援は勿論、新たな不登校を生まないための取組(長欠報告全件確認、小学校拠点の学校巡回)を実施。
松本喜久枝@日本共産党 ■いじめや不登校について	①件数及びその実態について ②現在の状況の分析について ③どのように対応するのか。 ④学校に行かないという選択肢、不登校に伴い安心して休む権利について ④-2【再質問】 安心して休むことへの支援 ⑤スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置、常駐できないか。 ⑤-2【再質問】 夜間の相談に対応しているか。	【いじめ】 ①認知件数 ②認知件数の増はプラス評価、解消率100%を目指す。 ③取組は学校での早期発見・対応、及び未然防止の取組み、SC、SSWによる支援など。 【不登校】 ①不登校の件数(他委員に答弁のため略) ②全国的に増加傾向、継続の割合が増している、中学で増加は中一ギャップの影響が大きい。 ③新規の不登校を生まない取組も重要。(他委員に答弁のため略) ④学校に登校する事だけではなく、社会的な自立を支援することも重要、本市では「ふらっとくらぶ」で児童生徒の社会的自立を支援している。 ④-2 個々の状況に応じた支援が必要。ふらっとくらぶのほか、NPO法人ジェルメ・まるしえ等と、ケースに応じ専門的な支援が必要な際に連携・協力している。今後も個々様々な支援を、道、学校、多様な支援機関と連携して支援していく。 【SC、SSW】 ⑤スクールカウンセラーは、全小中学校に6名配置(道の制度を活用、1人1~3校、週1~2回巡回)、スクールソーシャルワーカーは教育支援センターに3名配置している。相談等には、現体制でしっかりと対応しているところ。 (ではあるが、)相談体制の充実を図るうえで、スクールカウンセラーの配分時間の増を北海道に要望していく。 ⑤-2 対応している。

決算特別委員会質疑(R02年9月)

質問者@党派 ■質問事項	質 問 の 趣 旨	答 弁 要 旨
■全国学力テストについて	①学力テスト実施は多くの問題点があり、廃止すべきと思うが、市教委としての評価について	本調査の有用性は、各学校が一人一人の学力面において、個々の設問や領域等に着目し、学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげ、授業改善に生かすことができる点にある。市教委とし、令和3年度の実施を計画している。
蜂谷委員@日本共産党 ■奨学金制度について	①奨学金制度に生活保護世帯を入れる考えについて	生活保護受給世帯が対象とならない理由は、高校生について、生業扶助の高校就学費として毎月、基本額その他、授業で使用する教材代や通学に必要な交通費、そして参考書等の購入のため学習支援費が毎月支給されているため、本市の奨学金は支給対象としていない。
松本喜久枝@日本共産党 ■少人数学級について	①少人数学級の実現について	北海道都市教育長会では道教委に対し要望を提出しているほか、全国都市教育長協議会において、国及び関係機関に対し陳情をしている。今後もこれらを通じて粘り強く働きかけていく。
■ネットワーク環境の整備について	①ネットワーク環境整備の経過について	ネットワークの整備は、今年の9月にプロポーザル方式による公募を実施。来年2月までに全学校へ整備を予定している。
加藤泰博@石政会 ■統合校開校に向けた改修状況	①石狩八幡小トイレの洋式化について ②開校準備委員会からの要望内容にすべて応えたのか。	①開校に伴う改修により、全箇所を洋式化済み。 ②要望が強かった校舎外壁の改修や、児童玄関前の階段ブロック、体育館の床の全面改修、体育館の照明LED化など要望に応え実施済み。但し建物躯体に影響を及ぼす多目的トイレ整備は対応できなかった。
■トイレ洋式化	①紅南小・南線小2校の改修について ②令和元年度末における洋式化率について	①紅南小は、計8箇所（校舎1～3階の児童用トイレ（6）＋1階多目的トイレ（1）＋2階職員トイレ（1））。南線小は、計3箇所（校舎1階の北側・南側、2階の北側。内、1・2階に多目的トイレを新設。） ②令和元年度末時点の洋式化率は約62%。
蜂谷三雄@日本共産党 ■旧石狩小グラウンド用地処理事業について	①訴訟価格と面積について	訴訟価格561,420円、面積963㎡。弁護士への報酬等として348,000円、不在者財産管理人（弁護士）への報酬として150,000円。
阿部裕美子@公明党 ■時間外転送電話導入について	①各学校の活用状況や評価、導入後のトラブル有無について	学校現場から、教職員の時間外勤務の縮減といった課題解消に寄与する手立てとして評価されているものと理解している。学校管理下ではない時間帯に事故等があった場合、関係機関を通じ市・市教委に直接情報が入るため、これまで情報や連絡が学校に伝わらずに支障を来したトラブルはなかった。
蜂谷三雄@日本共産党 ■就学援助について	①児童養育加算の項目を制度に入れる考えはないか。	平成30年度に生活保護の生活扶助制度見直しの際、検討したが、国が「他の制度に影響を及ぼさない」ことを基本的な考えとしたことから受給者不利にならないよう見直しを見送った。現状で制度全体のバランスを考慮すると児童扶養加算のみを加えることはできない。今後は、道内他市の事例など情報収集する。
■通学区域等について	①虹が原は厚田学園の通学区域か ②旧望来小と旧聚富小中の児童生徒の通学先内訳について ③上記の校区基準を定めた経緯	①虹が原の通学指定校は、石狩八幡小と石狩中。 ②旧望来小の児童5名は全員、当時の厚田小へ通学。旧聚富小中は、小学生8名の内、3名が厚田学園へ通学。中学生9名の内、9名全員が石狩中へ通学。 ③指定外通学を認めるということで、トーマン団地内の緑ヶ原と虹が原を同じ通学指定区域にする旨の強い要望により改正。旧聚富小中の児童生徒は、学校選択ができるよう措置。

決算特別委員会質疑(R02年9月)

質問者@党会派 ■質問事項	質 問 の 趣 旨	答 弁 要 旨
■特認校化について	①厚田学園及び浜益小・中の特認校化について ②山村留学で子どもの居住環境を整備し、呼び込む施策の検討について	①現在、生振小は、希望によって他の通学区域からの通学を認める特認校として設置しているが、自宅からの通学ができることが原則である。厚田区・浜益区の学校の特認校化は、旧石狩市域からの通学を想定した場合、距離的かつ通学に係る時間的な課題があり、困難である。 ②中学校での複式学級の編制による学校運営を行うにあたって、教職員の定数減といった様々なハンディを伴い、憂慮すべき状況と認識している。その解消策として「山村留学」も一つの施策と考えるが、ホームステイ先や寮などの確保や整備だけではなく、生徒の家族・世帯の移住や保護者の就業先の確保等、地域振興や産業振興、まちづくりといった多角的な観点で検討していくべきものとする。
阿部裕美子@公明党 ■図書館の蔵書整備について	①整備目標に対する現在の進捗状況 ②利用者からの要望の吸い上げや反映について	①収集方針、選定基準、除籍方針により蔵書整備を進めている。全館の収容可能冊数32万冊を超えたため、計画的に除籍を進めている。 ②旧石狩市民図書館ビジョンの事業として「市民アンケート」を実施。結果分析し、順次結果を活かす方法を検討し進めている。
天野真樹@改革市民会議 ■公民館等の事業について	①公民館の予算は管理運営費がほとんどで、講座開催費等事業予算が少ないが、総合計画にある基本施策の推進や、学習機会の提供に関するボランティアやリーダーの発掘と養成などといった課題はクリアできているのか。 ②市長部局でも観光まちづくりなど社会教育的な要素を持った事業をしており、社会教育主事に関わるともっとよいものになる可能性もある。様々な部局との有機的な連携のためにも社教主事存在が重要になるのではないか。	①市民カレッジは運営委が別会計を持っていたり、公民館祭りのように事業予算を持たないで実施しているものもあるところではあるが、よりよい生涯学習施策の推進には、さらなる市民とのネットワークづくりに力を入れていきたいと考えている。 ②発令されている社会教育主事のスキルを伸ばし、市民との関りのけん引役として活躍してもらうような環境を作るとともに、様々な部署にいる有資格者とのネットワークも活用して情報交換や連携をしていきたいと考えている。